

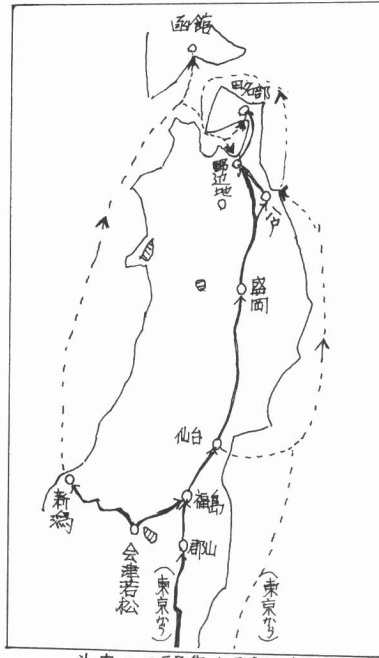
そのあとは、陸路を歩いて斗南領へ向うつもりだったのです。

五三郎、四郎の二人の兄は、勉強するために、東京に残ることになりました。五郎は、太一郎兄と一緒に、斗南領へ移住することになりました。

二百余名の同行者

と共に、東京湾の品川沖から、八百トンばかりのアメリカ蒸気船に乗って、下北半島の斗南藩領へと向いました。

下北の嵐



斗南への移住(明治3年)